

エコが千代田の自慢です!



# CES 通信

Vol.11 2023 秋号

## CESエコフェア2023開催が 決定いたしました!!

千代田のエコを推進しよう!



日時・会場：10月21日(土) 10:00~15:00・千代田区役所1Fホール〈入場無料〉

皆さまお待ちかねの区内大学やボランティア団体による活動報告や  
千代田区清掃事務所による「再生家具の無料抽選会・フードライブ他」出店致します!!

- ・子ども服の交換会
- ・養蜂活動パネル展示及びはちみつ販売
- ・牛乳パック6枚とトイレトーパー1個を交換
- ・アップサイクルファッションショー及びアクセサリーや小物販売
- ・エコと防災に役立つ カトー折り
- ・千代田エコシステム推進協議会の活動の紹介



### 《環境配慮宣言事業》今年も引き続き、区内事業者のみなさんを応援致します。

今年は例年より少し早い6月に、光熱費の高騰対応で頑張っている区内事業者さんに「環境配慮宣言」をしていただきエコバッグを配布、応援活動と致し

ました。今年も多数の事業所さんにご参加頂きました。昨年配布したエコバッグが好評だったので、今年も同じモデルと致しました。

#### 「環境配慮宣言事業」参加事業所

トニーローマ、淡平、朝日電機商事、神田いろは鮎、神田丸屋、リズム靴店、DiningBarLampLight、旭軒、いく代寿司、千寿、昭和薬品(株)、からだ工房、香文堂、磯見酒店、越後屋、ベンガル、桔梗屋電機、宝来屋本店、TeahouseTAKANO、天ぶらはちまき、ミヤタ文具、プラットフォームサービス、しまゆし、玉川屋、寿々木、カーサノーヴァショップ、佐々木商店、珈琲専門店エース、サクラホテル神保町、中国料理 源来酒家、BowlHouse、2×3スリーレップ、神田 木花、オギムラ薬局、ゴンドラ、新世界菜館(順不同)



### 千代田区 環境政策だより 【千代田区の森林整備事業について】

千代田区は岐阜県高山市、群馬県嬭恋村、秋田県五城目町との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業(間伐等)に協力し、森林整備によるCO<sub>2</sub>吸収量を、区から排出されるCO<sub>2</sub>の一部と相殺(カーボン・オフセット)する取り組みを進めています。

また、区内在住・在勤・在学者を対象に協定自治体への植樹ツアーを開催するなど、地方都市との連携を深めています。

ます。さらに多摩地域の森林整備を進めるため、7月31日、東京都と千代田区を含む都内12市区町村は森林環境譲与税を活用する「森林環境譲与税の活用に係る都内連携に関する協定」を締結しました。

協定の主な内容は「多摩の森の整備・保全、カーボンオフセット(二酸化炭素吸収量の認証)」「多摩の森を活用した、林業作業、自然観察その他の体験活動」「多摩の森で産出される間伐材他木材の活用」です。東京都、千代田区、中央区、台東区、品川区、荒川区、葛飾区、八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町の13自治体が参加しました。

※「森林環境譲与税」とは、2019年3月に公布された環境保護や市町村の森林活用、木材利用を促すことが目的で、すでに各都道府県を經由して市区町村への交付も開始されている。なお、財源は2024年より徴収が開始される一人あたり千円の「森林環境税」。





# 『DENIM PROJECT PLUS 2023』

## 共立女子大学 家政学部 被服学科 宮武恵子研究室

### ファッションショー開催への協力を致しました。

2023年7月14日(金)、「ちよだプラットフォームスクエア」1階広場において、「DENIM PROJECT PLUS 2023」と題したファッションショーが開催されました。このショーは、そもそも共立女子大学・宮武恵子研究室が開催予定のファッションショーの会場が確保できないと、CES事務局に相談されたことがきっかけでした。事務局より関係各所に相談したところ、「ちよだプラットフォームスクエア」の1階広場が利用可能となり、無事、ショー開催に至りました。

なお、今回のような会場探しによるイベントへのご支援は、事務局として初めての試みでした。宮武教授のショー開催への熱意に、事務局が引っ張られてし

まったというのが正直なところだと思います。

これからも会員様からの、ご相談やご依頼がありましたら、可能な範囲でご対応して行きたいと考えております。また、会場が屋外の広場だったのでショーとの親和性には、心配をしていたのですが、「捨て耳※という素材の良さを引き出してくれる会場」との評価も頂戴でき、スクエアの窓口ご担当者様からはこれからもご利用くださいとお声がけもありました。

※製織工程で生じる繊維くずで、横糸を織物端部でからませる連続的な縦糸に織物端部で切断された不連続な横糸が絡んだもの。1本の長さは、工程途中で切断しない限り、製造される織布の長さと同じ。



## 令和5年度定時総会及び理事会開催の報告

令和5年6月2日、千代田区役所4階A会議室において定時総会が開催され、令和4年度の事業報告、決算報告及び令和5年度の事業計画、それに伴う予算案が議決・承認されました。また、その後の理事会にて所属先の人事異動に伴い2名が理事・監事に、また新規で1名が理事に選任されました。以下、新任役員3名をご紹介致します。なお岩崎氏は、企業や地方自治体の環境マネジメントシステム構築・改善支援の経験を有しており、ISO14001の審査員でもあります。



新任理事  
**依田 昭夫**  
公益財団法人まちみらい千代田  
副理事長



新任監事  
**大原 正道**  
千代田区連合町会長協議会  
会長



新任理事  
**岩崎 孝雄**  
グリーンスタート合同会社  
代表社員





MEMBER'S  
VOICE

## CES会員の皆さまよりの声

このコーナーでは、環境への取り組みや日々感じたことなど、エコに関する皆さまの声を掲載してまいります。

VOICE  
01次世代の若者たちに  
良好な環境を引き継ぐ

CES正会員／鈴木株式会社 取締役 鈴木 悦子

しばらくCES推進協議会の活動は休んでおりましたが、漸く大手町川端緑道沿いの緑豊かな自然を楽しみながら鎌倉橋を渡り、千代田区への勤務を再開致しました。

鎌倉橋は、徳川家康が入府の折に、相模国鎌倉からの材木や石材を荷揚げしたことから由来しており、橋の下を流れる日本橋川は旧江戸城の外濠石積などが見られる親水空間。4年振りに行われた神田祭では神田鎌倉町々会の神輿が練り歩くような、歴史と文化と自然の融合を感じる素晴らしい場所です。これまで関わった人々の知恵の結集も感じます。

最近の都会のうだるような暑さ、海面温度上昇による台風の頻発、線状降水帯の猛威、等々、同じ千代田区のフィールドで共に生きる私たちの英知をCES推進協議会の活動を通して、次世代の若者たちに良好な環境を引き継げたらと願っています。



大手町川端緑道

VOICE  
02未来を守るための  
エコアクションを進める

CES賛助会員 株式会社ミナシア

株式会社ミナシアは、神田小川町に本社を構える、ホテル・レストランの運営会社です。

全国にホテルウィング・テンザホテルを展開し、持続可能な社会の実現に貢献するため、【環境に配慮したホテル運営】【地域連携強化】【未来を担う子どもをサポート】という3つの柱を軸に運営を行っています。

その中で、「泊まることも、食べることも、地球にやさしく」と考え、【とまってこたべてこ-tomattECO tabetECO-】プロジェクトとして、エコ清掃や、アメニティバイキング、フードロス削減メニューやフードコンポストなど、お客様と共にできるエコアクションに取り組んでいます。

これからもさらに、地域の皆さま、お客様と手を取りながら、未来を守るためのアクションを進めて参ります。

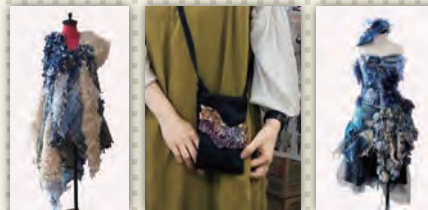
【ホテルウィング公式HP】  
<https://www.hotelwing.co.jp/>

VOICE  
03千代田区を基盤に「サーキュラーファッション<sup>※1</sup>」を精力的に発信中CES賛助会員／学校法人共立女子学園  
共立女子大学 家政学部被服学科 教授 宮武 恵子

現在、担当している研究室でテーマとしている「サーキュラーファッション」は、前職であるアパレル産業に従事していた頃より温めておりました。2011年より現職に就いてから実現への活動に着手致しました。まず、千代田区内で排出される衣料廃棄物を入手するために、千代田清掃事務所にお伺いしたことで、その後の活動の指針となるアドバイスを頂戴できました。また、草木染の研究で知遇を得た山梨県立大学の杉山歩教授の紹介により同県郡内<sup>※2</sup>地方の織物業者等との連携を深めることができました。そして、清掃事務所に勧められた、千代田エコシステム推進協議会での活動を始めたことで千代田区内での活動の基盤も築くことができています。

本学の学生がファッションショーを開催する機会は共立講堂での卒業制作発表会がメインですが、近時、産学連携による企画（例：2022年10月、(株)ヤマサワプレス様とのコラボ企画で東京トーチでのファッションショー）なども持ち込まれます。7月中旬に「ちよだプラットフォームスクエア」にて開催したショー（P2の記事参照ください）は、いままで地道に千代田区内で紡いできた地縁が生み出したもので、研究室の活動の方向性は、間違っていないと確信できたイベントとなりました。

10月に開催されるCESエコフェアへの参加では、昨年度のショーにPLUS（プラス）要素として、コラボ先企業・(株) モーンガータ様も新たに加わり、パワーアップしたものをお見せできると自負しております。ワークショップ、アクセサリーやイヤリングの販売もごございますので、ぜひともご来場ください。



※1 環境に配慮することとファッション性とを両立させ、製品の全ライフサイクル（原材料・設計・調達・製造・販売・利用・回収・再生）において、循環化を図る取り組み。  
※2 山梨県東部（富士吉田市、上野原市、大月市、都留市、西桂町）は、昔から郡内と呼ばれ、郡内織の機業地として知られる。





# 千代田区の環境政策と連携した取り組みを強化していきます

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事長 **渡辺 達朗**  
専修大学商学部 教授

7月下旬の時点で、今年の夏は世界的に観測史上最も暑くなる可能性がある、何人もの気象予報士が指摘していました。その原因として、偏西風の北側への蛇行、地球温暖化、エルニーニョ現象の発生が重なったことがあげられています。実際に、最も暑かったかどうかはともかく、例年を上回る猛烈な暑さだったことは間違いないでしょう。5年ほど前にはあまり使われなかった「線状降水帯」とか「災害級の暑さ」とかといった言葉が、日常的によく聞かれるようになりました。まさに異常気象であり、地球環境問題への多面的な対応が求められています。



私たち千代田エコシステム推進協議会においては、

これまで千代田区独自の環境マネジメントシステム(EMS)をはじめとする環境配慮行動(CES)の普及・促進を目的に活動してきました。今後、区の環境政策との連携をさらに強化し、これまでの活動をさらに発展させて、ゼロカーボンに向けた取り組み(五城市町など姉妹都市との連携の強化や木造建築の勉強会等)、食品ロス削減を含む循環型経済(サーキュラーエコノミー)の実現、生物多様性の確保といった課題に、私たち自身が積極的にかかわるとともに、こうした領域での区民や事業者の皆さんの活動を応援していきたいと考えています。



循環型経済 (サーキュラーエコノミー)

10月21日(土)に千代田区民ホールで開催致しますCESエコフェアは、そうした活動の一端をお披露目する場となりますので、ぜひともご来場ください。

## 2023年度 CES監査・認証(クラスⅢ)について

7月10日から21日にかけて、千代田区内の21部署のCES活動に対する監査を実施しました。2020年以降の書面監査でしたが、今年度は4年ぶりの対面監査、少数精鋭の監査員にて対応しました。

なお、監査に先立って6月30日にはCES監査員実務研修を開催、千代田区地球温暖化対策の経緯やゼロカーボンちよだへの道のり等、区の環境政策を俯瞰で捉える場面もあり、帳票のチェックに留まらない監査を目指す姿

勢が感じられました。

今後、認証委員会を開催し監査結果が認証されるという流れとなります。以降、一般事業所の監査を順次、開始しています。

(株式会社久保工、千代田区社会福祉協議会、株式会社大同、内幸町ホール、株式会社ジャパックス、千代田区立障害者福祉センターえみふる、三幸株式会社。各事業所の環境活動の概要はHPへアップしています)

### 編集後記

気象庁によると、7月の猛暑日は全国の累計が延べ2435地点であると発表した。これは気象庁が集計を始めた2012年以降で2番目の多さとのこと。埼玉県熊谷市で国内最高の41.1℃を記録した18年の延べ3127地点に次ぐ数字。東京都心では猛暑日を13日観測し、7月として最多を更新した。

このままでは「酷暑日(最高気温が40℃を超える日)」

「超熱帯夜(最低気温が30℃以上の夜)」の記録が報道されるようになるのもそう遠い話ではなさそうです。各人のエコ活動にも限界もあり、コペルニクスの転回を期待してしまうのは弱い人間のさかなのでしょうか? どうにかならないかこの暑さ... (I)



Vol.11 2023 秋号

発行・編集：(一社)千代田エコシステム推進協議会  
発行日：2023年9月15日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所：〒102-8688  
千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階  
電話：03-5211-5085 FAX：03-3221-3405  
メール：info@chiyoda-ces.jp  
URL：https://chiyoda-ces.jp

